

米国 ハスアボカド委員会の新しい戦略計画は栄養研究に焦点

[FreshFruitPortal](#) 2025年8月4日

数量と栽培面積が拡大を続け、強力な競争相手が増え続ける成長産業の5カ年計画を作成するに当たって、最終目標が市場の拡大だと知ることは容易であり、そこにたどり着く方法を見つけることは難しい。

これは、アボカド産業の米国市場の発展に注力する組織であるハスアボカド委員会(HAB)が、今後の道のりに備えるために行なった専門家、会員、関係者、消費者との協議に7カ月を費やした理由である。HABは7月末に、2025年から2030年までの戦略計画を発表し、その中でアボカドを「毎回の食事でもまれる米国の健康食品」と位置付けることを目標とする新しいビジョンステートメントを定めた。

発表に伴うウェビナーで、HABの執行役員であるエミリアーノ・エスコベド氏は、今後5年間の組織の優先事項を概説し、そこでは科学研究への投資と結果を追跡する取組みがリストの最上位に置かれた。本サイト(FreshFruitPortal.com)はエスコベド氏と接触し、HABの戦略計画と、医療専門家と緊密に連携してアボカドが持つ無数の健康上の利点を強調することの重要性についてさらに話を伺った。(以下、回答は同氏)

アボカド部門は量的に絶えず拡大してきている。業界の市場拡大ニーズに関係するその他の要因は？

現在米国市場にアクセスできる国や地域で、アボカドの生産(栽培面積及び収量)の増加を予想している。また、グアテマラなど、2030年までに米国市場への出荷が見込まれる新たな供給国もある。そのため、早い時期からの大量出荷を吸収できるよう、米国内の消費と需要の拡大を計画的に継続する必要がある。

HABの戦略計画では、今後5年間の組織の優先事項の1つとして栄養が設定された。アボカドの「健康食品」としての地位を裏付ける知識をどのようにして生み出すのか？

ハスアボカド委員会は2010年に、生鮮ハスアボカドの健康と栄養上の利点に関する科学と知識を拡大するため、アボカド栄養センターを設立した。それ以来、我々はヒトを対象とした数十の臨床研究に資金を提供し、数十の記事を科学雑誌に掲載してきた。この研究のおかげで、アボカドの摂取が循環器系、体重管理、糖尿病、小児の健康、母体の健康、高齢患者の認知機能といった諸課題に影響を与える健康状態の改善に役立つことを実証することができた。

10年前に、消費者と医療専門家が参加した本格的な市場調査を通じて、調査すべき最も関連性の高い分野を特定した。今後5年間は、戦略計画の一環としてさらに市場調査を実施し、次の10年間の調査研究が消費者と医療専門家のニーズに沿ったものとなるようにする。ハスアボカド委員会は、純予算額の約15%を販促プログラム、調査研究、及び科学研究に関する情報の提供に支出している。

ウェビナーでは、医療専門家がアボカドの健康上の利点を認識するよう働きかけることの重要性についても言及された。そのような外部への働きかけはどのように行うのか？

戦略として、アボカド栄養センターが発信する情報をインフルエンサーを通じて消費者に届ける。この際のインフルエンサーとして、主に食生活の改善を通じた患者のケアに焦点を当てている医療専門家、例えば心臓専門医、総合医、栄養士などを特定した。これらの専門家は患者に大きな影響を与える。また、ソーシャルメディアやその他のチャネル、例えば医学会、ポッドキャスト、デジタルマーケティング、広報で活躍している専門家や医師にも働きかけ、連携している。

最後に、業界の現在のシナリオについてお尋ねする。メキシコとペルーからの輸出量が増え続ける中、世界規模でのアボカド輸出市場をどのように見ているか。刻々と変化する米国の貿易政策に起因する現在の市場の変動が、輸出の増加傾向に悪影響を与えると予想しているか？

米国では、需要を伸ばす機会がまだあると考えている。一方、課題は、輸出業者と輸入業者の間で数量を調整し、適切な市場に、適切なタイミングで、適切なサイズと数量の作物を投入することである。それにより製品の品質と一貫性が確保され、最終的に購入者の消費体験と主観的な評価が定まる。我々の商品は、健康的で美味しく人気があり、市場から求められており、人々には購入意欲がある。世界と国内の両方で秩序をもって顧客の需要に応じて行けば、我々の成功は続くだろう。